

会長メッセージ

今年の国体では、久しぶりに成年男子が遠的で4位入賞、又、近畿地域弓道大会では、男女団体優勝、個人で男子優勝と4位、女子も4位と健闘しました。さらに、第2回世界弓道大会（パリ）日本団体代表選考会の近畿地区代表4名枠の中に、山口亮二選手と衛藤博史選手が選ばれました。3月1日の東京での代表選考会に向けて、さらなる精進を期待しております

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆国体を振り返って

成年男子監督：西浦 範光

何年ぶりかに入賞することができましたのは、会員の皆様の暖かいご支援があったからできたものと思っています。ありがとうございます。それと、強化選手の熱心な練習の賜と思います。以下3名の選手の感想を掲載しましたのでお読みください。

新子 修平（挑戦し続けることが生きている証）

今回結果として弓道連盟に貢献できたことはやっと思援してくださった皆様、先生、スタッフの方々に恩返しできたと思っております。改めてこの場で感謝申し上げます

弓道を始めてから国体での入賞は東京が初めての経験でした。これも、強化練習に参加させていただいて、体配から射技まで一生懸命教えてもらい、本気で毎年毎年ほぼ休みなく練習したからだだと思います。私自身にとって国体に挑戦することは、勝ち負けでなく、自分との闘いと自分への挑戦であります。趣味程度に弓をすれば、辛いことや苦しいこと、家族に我慢してもらうことなんて必要ありません。そんなリスクを背負ってでも、黙って思援してくださり支えてくださる人がいるからこそ結果を出した時の達成感も大きいもので、成長も感じることができます。それが団体戦だからこそ更に難しく、だからこそ責任感も団結力も得ることができます。

これからも弓道だけでなく、人生も死ぬまでチャレンジし続けたい、またそんな人間を見てチャレンジできる人が増えて、奈良県弓道連盟が全国に轟く弓道大県になりますように切に願います。

辻本 元威

今年も長いようで、短い強化練習が終わりました。今年は国体本戦に初出場し、遠的に入賞も出来たことはとても嬉しく、良い思い出になりました。しかしそれ以上に、遠的の準決勝、3・4位決定戦で足を引っ張り、上位入賞を逃したこと、近的1回目で0中を（右上へ）

祝

○国体成年男子 遠的 第4位入賞

○第37回 近畿地域弓道大会10月6日

（京都市武道センター弓道場）

男子団体

優勝 奈良G（山口亮二 鈴木規央 新子修平）

女子団体

優勝 奈良F（土谷ひろみ 橋本紀子 中西美津枝）

男子個人 **優勝** 山口亮二 **4位** 衛藤博史

女子個人 **4位** 中西美津枝

出したことは、自分にとってとても反省することであり、大きな勉強になりました。

国体で毎年活躍されている他県の方々も、仕事や学業との両立をされている環境は同じであるにもかかわらず、このような違いがあるのは日々の練習への取り組み方や、練習時点での成果やレベルが大きく異なっているものと思われます。自分達の半年間の強化練習を振り返ってみますと遠的では前半、テニスコートの炎天下に晒され集中力を出せず点数が出なかったが、暑さが和らぎ後半になって点数も上がり、目標の70点を越えてきました。（テニスコートに稼動式の屋根かテントを提案したいのですが・・・）。

しかし近的では、国体で戦えるレベルの中はほとんど出ず、皆が今一つ気持ちを高く持っていくことが出来ていなかったと思います。

これからの課題として、射技や精神力の向上を中心に見つめ直し、また来年今年以上の結果を出せるよう、強化一丸となって日々練習に取り組んでいきたいと思えます。奈良県の強化で養った力を持ってすれば、国体は決して敵わぬ次元ではないと、今回改めて自信を持つことが出来ました。

最後に、先生方、強化の皆さん、連盟の方々の支えと、このような経験の場を与えて頂いたことに、深くお礼申し上げます。有り難うございました。

山口 亮二

ここ数年、手ぶらで帰ってばかりの成年男子を思うと、今回の東京国体で遠的4位というお土産を持って帰る事が出来、ホッとしているのが正直な感想です。ただ、全体を通して納得いくまで引き切った射は何本あったのか、相手を気にせず集中出来たのか、等反省点は多々あります。大舞台での緊張に強くなるよう練習では色々工夫してみました。でも、まだまだ足りません！単年で終わらないよう練習内容・反省点など資料は毎年強化部に残しています。次の国体を目指している皆さん、ぜひ参考にしてください。

思援・サポートしてくださった多くの方々、本当にありがとうございました。

◆スポーツ祭東京2013に参加して 少年男子（高体連）

地元橿原で行われた近畿ブロック大会を1位で通過し、東京国体の出場権を得ることができました。それは、平素の練習の成果を発揮できた結果でしたので、本国体もそのようにできるよう練習計画を作成しました。平日は学校での練習、土日は橿原公苑での遠的を中心とした練習です。しかし、台風18号をはじめ週末の天候が悪く、思うように遠的の練習はできませんでした。また、今回の大会で気がかりだったのは、練習会場がないということでした。今までは、大会前の2日間程度は本会場と仮設練習会場で練習し、周りの環境に慣れ気持ちの上で負けない状態を作り試合に挑んできました。しかし、それができません。その為、9月22日から会場での練習が可能であるとの連絡があり、3連休を利用し、22・23日も東京に出向き練習させていただきました。大会に向け、できる限りの努力ができたと思います。

26日早朝、東京に向け出発しました。この日も練習日ということで、数多くのチームが練習に来ており、近的・遠的それぞれ8射しか引くことができませんでした。27日は公開練習日で、すべてのチームが必ず遠近各1回は練習出来るように配慮された中の練習となりました。遠近1度ずつ終えたところで、神奈川県生田の澤隆明コーチの母校である明治大学へ移動し、弓道場をお借りして練習させていただきました。翌28日も、総合開会式のため本会場での練習はできないということで、午前中は明治大学で練習させていただきました。大会前日までは、矢数もかけながら順調に調整できたと思います。

29日近的予選では、中立の永島が8射皆中の活躍を見せましたが、1回目7中と出遅れたスタートとなり、2回目9中と普段通りの的中ができましたが、予選通過ラインに届かず悔しい予選敗退となりました。夕方からは気持ちを切り替え、成年男子が確保しておられた花小金井武道館弓道場を使わせていただき調整を行いました。

30日遠的予選。1回目前半6射で5中するものの19点と点数が伸びず、後半失速し得点は31点、予選通過を目指すには厳しい結果になりました。2回目の立は、そこそこの的中が出て高得点をたたき出さない限り決勝進出は難しい状況です。このチームでの最後の立になるので悔いの残らない行射（大きく引いて強く離す）を指示し入りました。出だし1、2本目は7点、7点と中り、もしかしてとの期待を抱きましたが、51点に終わりました。結局は合計82点と不本意な成績となりました。

今回、大前の小西と大落の杉井は、昨年から国体候補選手として頑張り今年のブロック敗退の屈辱を果たしてくれました。そして、昨年の子以上以上の活躍を目指していましたが、それはなりません。（右上へ）

補欠の今西は全国選抜出場の経験を生かしよくサポートしてくれました。唯一2年生だった清水は、まだまだ甘いところもありますが、今回の経験を生かし、来年はきっと倍返ししてくれるものと期待しています。

最後に、近畿ブロック大会をはじめ支えていただきました奈良県弓道連盟のみなさん、代表選手を気持ちよく送り出していただいた各校の顧問の先生方に感謝いたします。

◆全日本選手権での一考察

西浦 範光

今年で6回目という割には何の成果も挙げられず、会員の皆様に謝ることしかできない有様です。特に、今年で連続4回も参加させてもらっているにも拘わらず、相変わらず決勝へ進めずにいる自分に段々腹立たしくなってきました。と言うか、結論はわかっているのですが、そこへはまだ持って行きたい自分があります。そこまでの自分だとはやはりまだ思いたくない気持ちと、引き際を大切にしようという思いが葛藤しています。

予選4射の内2本は普段の射で引けたかなと思います。しかし、残りの2本は全くダメでした。同じような感じで4本を引くというのは難しいと痛感しました。予選1回目の1本目に2段離れが出たことが特にショックでした。4射3中と言っても4射2中と変わらないものになってしまいました。私は、常々4射3中で予選が通らなければ諦めてもいいのではないかと自分に言い聞かせてきました。3年前は弓を落とす「失」をしたから、まだチャンスはあるのではないかとごまかしたのですが、今回はどうやらその言い訳もなくなってきたようです。これからの半年間でじっくり考えたいと思います。

そんなことで、今年もいい結果を報告することができませんでした。申し訳ありません。

指導部からのお知らせ

- (1) 今月27日（日）の審査講習会の講師は、主任講師として須田先生、補助講師として指導部が担当します。ご了解ください。
- (2) 冬季のU-15強化練習会の日程が、下記のように決定しましたのでお知らせします。
 - 1回目…12月7日（土） 橿原公苑弓道場
 - 2回目…12月14日（土） 香芝中学校
 - 3回目…12月21日（土） 橿原中学校
 - 4回目…1月11日（土） 橿原公苑弓道場
 - 5回目…1月18日（土） 橿原公苑弓道場
 いずれの日も13:00～16:00までで、指導部と強化部の合同で行います。

◆天皇盃に出場して

芝香支部蒼穹会 藤岡 順

9月22日から伊勢にて、以前から憧れの舞台であった天皇盃に出場してきました。ただただ楽しかったです。出場にあたり、関わってくださった全ての方に感謝しつつ無事に射終えました。

残念ながら予選は通過出来ませんでした。出場選手全員が、さすが各都道府県の代表選手！なかなか聴けない弦音や鋭い離れなど、とても刺激を頂いて帰って来ました。さて、これから自分の射にどうやって取り入れたものかと試行錯誤する楽しみが出来ました。滅多に得られない機会を頂きありがとうございました。

◆第66回奈良県高等学校総合体育大会

弓道競技会 決勝

日時・場所 9月23日(月) 橿原公苑弓道場

参加者(予選通過者・通過チーム)

個人戦 女子27名 男子30名

団体戦 女子22チーム 男子12チーム

女子個人 1位 金川 知未(畝傍)

2位 東 香 奈(法隆寺国際)

3位 大石 萌(平城)

男子個人 1位 西井 啓祐(高田商業)

2位 杉本 直也(平城)

3位 生田 晃樹(王寺工業)

女子団体

1位 畝傍A

本芹菜・金川知未・村田真波

2位 郡山B

吐田歩未・山野宏子・尾崎莉乃

3位 平城D

片山莉那・寺村明莉・三浦真奈

3位 五條B

堀本奈未・竹田佳那子・中山智香子

男子団体

1位 高田商業B

西井啓祐・松村怜・森井俊行

2位 王寺工業A

米田昂史・西川直希・生田晃樹・

今西達也

3位 王寺工業C

岡田祐来・辰巳孝典・森村啓生・

杉田和樹

3位 畝傍F

畑中優志・小田悠介・伊藤奨 (高体連)

◆中央研修会(10/4~6)に参加して

西浦 範光

今年は昨年より1週間早い時期になり、全日本選手権、国体、そして中央研修会と行っは帰り、また1日か2日後には出発という強行スケジュールでした。6日の夜9時過ぎ家に着いたときは、さすがにぐったりでした。

昨年の研修会は、基本体と基本動作の繰り返しでぐったりでしたが、今年は打って変わって技と心の研修でした。講師は岡崎主任講師、飯島講師、佐竹講師、本多講師の先生方でした。1日目の講評で「武の構えがない。」と佐竹講師から指摘を受けたときにドキッとしました。あまりの凶星とその域には全くと言って持ち合わせていない自分にとっては強烈な言葉でした。他にも「歩行にも射にも勢がない」、「身体を使って引いていない(手引き、手離れ)」、「もっと歩く練習を」、「射品・射格がない」等々。

2日目の射技指導の中で、岡崎主任講師の理論に基づいた指導を3日目の仕上げ行射(検定試験)でやってみようと思ったが、全くできなかった。説明を受けて実際に引いているときはわかったような気でしたが、全然できなかったのがかなりのショックでした。

これからの練習で少しでも身に付いたら素晴らしいと思えるが、研修会の中身は、今の私にとってはまだまだ遠く、ましてや「武の構え」などは「とても、とても。」「射技と体配は両輪ではなく、渾然一体である。」と岡崎講師は言っておられたが、何をとってもその域は遠く、かすんでいる。

どれだけの内容を皆さんに伝達できるかわかりませんが、いろんな機会に伝えていきたいと思えます。

編集後記

国体、近畿の大会ですばらしい成績を残された皆さんおめでとうございました。また、例年優れた生成績を残されている国体少年の皆さん今年も残念でしたね。お疲れ様でした。

全日本へ出場された選手からも、出場を終えての思いを届けていただきました。奈良県の代表としての活躍ご苦労さまでした。

今後も全国大会や審査会、県内での大会がこれからも続きます。季節の変化も大きくなります。体調に留意しながらお互い頑張りたいたいものです。